



課題図書を紹介



青字は児童
書

	書名	著者名	内容
低学年	ライオンのくにのネズミ	さかとくみ雪	父親の転勤でライオンのくにに引っ越したねずみの家族。ライオンが怖くて仕方がない子ねずみだったが、あることをきっかけにライオンと対決することに。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らはわかりあうことができるのか？
	ぼくのねこ ポー	岩瀬 成子/松成真理子	少年の心の機微を丁寧な筆致で描いた幼年童話です。ぼくがひろったのは、すてねこなのかな？学校からのかえり道に見つけたねこ。のらねこなのかな？それともすてねこ？ぼくんちのねこになってくれたらいいな。
	ワレワレはアマガエル	松橋利光	カエルと聞いて思いうかぶのは？ぴょこんと目が出て、緑色のーそう、ワレワレ、アマガエルだろう！体のしくみや、産卵からおたまじゃくし、冬眠までを、アマガエルたちの自己紹介で、楽しく見せます。
中学年	ふみきりペンギン	おくはらゆめ	小学3年生のゆうとは、ふみきりでペンギンの話を聞く。るりは、白いヘビのうわさを確かめたい。ななこは、鏡のなかのライオンと会う。そうすけは、天気占いをするフクロウが見える。「ふつうってなんだろう？」という不安な気持ちにたいして、決めつけず、気にせず、それぞれの子どもたちの自分らしさを肯定する。
	バラクラバ・ボーイ	ジェニー・ロブソン/もりうちすみこ、他	バラクラバ帽をかぶった転入生のトミーがやってきた。なぜトミーは帽子をかぶってるの？あの帽子の下には何がかくされている？ぼくとドゥミサニのたいくつな日々は、「バラクラバ・ボーイ」によって大きく変わったんだ。
	ねえねえ、なに見てる？	ビクター・ベルモント/金原 瑞人	多様性と他者理解について知るSDGs絵本。科学者のママ、ゲーム好きのパパ、音楽家のおじさん…同じ場にいっても、見ているもの、その見え方はまったくちがう！？きみには、どんなふうに見えてる？
高学年	ぼくの色、見つけた！	志津 栄子/末山 りん	「口にチョコレートがついてるよ」口にチョコレートがついているって？ぼくは自分の描いた似顔絵をまじまじと見た。これ、口の色じゃなかったのか。-自分の「世界の見え方」に向き合い、自分なりの「光」を見つけていく物語。
	マナティーがいた夏	エヴァン・グリフィス/多賀谷 正子	せっかく発見したマナティーはけがをする。おじいちゃんの認知症は進んでいる。そのうえ、トミーが引っ越すことがわかり……自然、家族、友だち…自分をとりまく問題が大きすぎたとき、どう立ち向かえばいい？変化に向き合う勇気をくれる、ひと夏の成長物語。

とびたて！みんなのドラゴン
難病ALSの先生と日明小合唱部
の冒険

オザワ部長

難病ALSと闘う先生が合唱部の顧問になった。合唱は未経験。大丈夫？でも熱意と子どもたちとの絆で初の全国大会出場金賞受賞に導いた！実話をもとに描く感動の物語。

出版社HPより

